

治療審査委員会申請書類

患者ID : _____

患者氏名			生年月日			年齢			性別			
診療科			区分	☐	階病棟	☐	外来	申請医師名				
診断名								Stage			Performance Status	
告知内容												
治療方法	プロトコール名		IRIS							告知Grade		
投与計画	身長		cm		体重		kg		体表面積		m ²	
	血清クレアチニン				ml/dl		Cockcroft-Gault		GFR(糸球体濾過率)		性別無し ml/mim	
	※女性は0.85を掛けています											
	S-1		80		mg/body		Day1~14					
	(BSA1.25m ² 未満 80mg/日 1.25~1.5m ² 未満 100mg/日 1.5m ² 以上 120mg/日)											
	イリノテカン				mg (標準量:125mg/m ²)		Day1,15					
	Day1,15											
	① グラニセトロン3mgバッグ + デキサート(6.6mg) 1V 200ml/hr											
	② イリノテカン _____ mg + 5%糖液250ml 165ml/hr(90分かけて)											
	③ 生食50ml 165ml/hr											
内服薬	デカドロン4mg 2T 分2 朝昼内服 2日目から3日目まで内服											
	上記4週間1クールとする											
	S-1 <腎機能障害時の投与量変更例>											
	Ccr(ml/mim)	≥80		60~80		30~60		<30				
		減量なし		初回投与量 (必要に応じて 1段階減量)		1段階以上 の減量投与 から開始		投与不可				
投与開始日 _____ 年 _____ 月 _____ 日												
併用薬の確認	S1: 併用禁忌 : 他のフッ化ピリミジン系抗悪性腫瘍薬、フッ化ピリミジン系抗真菌薬 (投与されていないこと。及び投与中止後1週間以上経過していることを確認する) 併用注意 : フェイトインの血中濃度上昇の恐れあり(中毒症状の発現)、 ワルファリンの作用増強させることがある凝固能変動注意											
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml ()											
予測される副作用と対処方針	悪心・嘔吐 骨髄抑制 下痢(早発)		制吐剤((5-HT3拮抗薬内服、プリンペラン、コンスタン、ドンペリドン)を使用し緩和する 中止、減量、休薬をする。G-CSFの使用も考慮する 予防投与としてイリノテカン投与前にブスコパン注10~20mg/回、症状に応じてイリノテカン投与中 又は終了後に追加する。(禁忌: 緑内障・前立腺肥大による排尿障害 等)									
	下痢(遅発) 口内炎		止瀉薬の使用検討。予防として半夏瀉心湯・排便コントロールや経口アルカリ化を行う 症状出現時プロマック、アロシトールG含嗽液等で対応。症状がひどいときは休薬、中止を考慮									
備考	注入ポンプ点 滴回路、フィル ター指定等											
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可											

担当委員署名 _____

許可決定日時 _____ 年 _____ 月 _____ 日 有効期限 _____ 年 _____ 月 _____ 日